

青空に雲の峰がそびえ立つ季節です。

予防接種も済み、屋内でのマスク生活にも慣れましたが、この季節には熱中症にも気を付けましょう。屋内でもこまめな水分補給を忘れずに。

デイサービス八重桜 本店

「七夕の手作りおやつ」



蒸し暑い日が続く毎日…。ご利用者さまには少しでも涼やかさを感じてもらおうと思い、職員が前日から準備して七夕のお菓子作りをしました。カルピス味の寒天ゼリーの上に、かき氷に使うブルーハワイで色付けしたゼリーを重ねて二層にし、黄桃を星型にくりぬいたものと星の形のかき餅をのせてお出ししました。器にもこだわって透明感のある器を使い、まるで夜空に輝く織姫と彦星のようになりました。ご利用者さまにも評判が良く、皆さま口々に歓声を上げておられました。普段、あまりご自分からお話にならないご利用者さまも「これは美味しいわー」と、職員をつかまえ興奮気味に仰る。そんな光景を目にすると、準備した職員もとても嬉しい気持ちになりました。

「手作り工作（風鈴絵付）」

八重桜本店フロアも少しずつお祭りの雰囲気になってきました。それに合わせて今回はご利用者さまに風鈴の絵付けの作業をしていただきました。どんなものを描いたら良いかわからないと仰るご利用者さまの為に、職員があらかじめ夏の絵柄をプリントした紙を何枚か用意し、それをお配りして、ポスターカラーや油性マジックで、風鈴に思い思いの模様を描いていただきました。花火や蚊取り線香、スイカや金魚など色とりどりの絵柄を一生懸命、描いておられました。職員も手分けしてテーブルにつき、お手伝いをさせていただきました。見事な出来栄え、可愛い模様、描きながらも鳴る風鈴の音色にみんなの心はもつすでにお祭り気分!! 夏祭りの日には皆さまの力作の風鈴が天井で鳴り響くことでしょう。



高齢者の生活支援ニーズ

西 勝康

高齢になると、個人差はあるものの膝痛、腰痛、体力の低下などの状態が現れる人が多くなります。そうすると日常の掃除、洗濯、調理、買い物などの家事に不自由を感じるようになります。

例えば、重い掃除機を持って膝、腰を曲げての作業はつらいとか、調理は出来ないわけではないが億劫になって簡単なもので済ませてしまったり、買物は店まで行けるが買ったものを持って帰るのが大変だ、布団干しはずつと出来ていないなどということがあります。これらは高齢者であればある程度共通にみられる状態です。

又、一人暮らしの場合、

合は、電球の交換や固い蓋の開閉など「ちよつとしたこと」に対処できずに困ったり、入浴中に何かあったら不安だとか傍らにいる人の存在がないといった心細さを訴える人もいます。

それでは、高齢者の生活が上手く営まれるためには、どのようなことを満たす必要があるのでしょうか。そのためには「五つのこと」と「ちよつとしたこと」をこなすことが必要だといえます。「五つのこと」とは、自分の存在を気にかけていく

桜の広場

人がいる「安心の確保」、掃除、調理、洗濯などの「日常的な家事」、通院や買い物などの外出、友人知人等との「交流」、大掃除など「非日常的な家事」のことで、「ちよつとしたこと」とは壁掛け時計の電池交換など、日常生活で不意に起こるようなことです。

高齢者の生活支援ニーズは、「安心の確保」を基盤とする「五つのこと」と「ちよつとしたこと」のどこかが上手いかなくなった時に生じます。生活支援ニーズに対応するサービスは「安心の確保」「日常的な家事」「外出」「交流」「非日常的な家事」「ちよつとしたこと」をメニューにとし、備えている必要があると云えます。様々なサービスを単体で提供している民間事業も増えてきていますが、以上のメニューを包括的に提供する事業所は無いように思います。

八重桜では、以前に「おうち老人ホーム」構想という自宅に居ながらにして、老人ホームで受けることが出来るようなサービスを考えていましたが、未だにサービス提供開始には至ってません。何とか早く成し遂げたいと考えています。

デイサービス八重桜 朱雀

「ご姫様と一緒に踊ろう七太」



蒸し暑い日々が続いていますが、皆さまの熱気で吹っ飛ばしましゅうー毎年七月といえはこの行事ではないでしょうか。七太です。ご利用者さまは、皆さま季節の行事を大切にされています。日本には四季があつて良かったなあと感じます。今年も、リボンを使って、織姫のように踊ろうつを開催しました。新体操のリボンの要領で体操をします。最初は、皆さまリボンの扱いに苦戦されていましたが、徐々にコツをつかまれています。後半には、動きが揃ったリボンが見れました。とても、優雅で綺麗でした。皆さまの姿勢、仕事もピシッと引き締まっています。最後に、支えてくださる方々への感謝の気持ちを短冊に書きました。みなさま、笑顔で過ごせますように。

「ピアノ演奏に合わせて唱歌」

ピアノに合わせて、歌いましょうー！のレクリエーションを開催しました。ピアノを職員が演奏し、皆さまたくさん歌を歌いました。やっぱり生の楽器の音は良いですね。耳以外の五感にも伝わってきます。歌と歌の間になって、歌って頂きました。たくさんリクエストが来ておりましたので、又次回には是非リクエストに応えながら開催したいと思えます。皆さま、たくさん歌を存知で、感動しました。若い頃に流行った歌を思い出されながら、その頃のお話を周りの他のご利用者さまとお話もされていますね。歌は、色々なものを思い出させてくれました。



デイサービス八重桜 押熊

「年に一度の七夕祭り」



年に一度の七夕祭りでは、ご利用者さまの願いを書かれた短冊を飾ります。
短冊を見てみると、
「子供に早く会えますように。」
「○○ちゃん所に行きたい。」
これは、コロナ禍で面会ができず淋しい、皆さまの気持ちです。
「藍が幸せで過ぐせませすすすすす。」
「藍と仲良く過ぐせませすすすすす。」
施設で暮らすにあたり、毎日の時間を穏やかに過ごしていきたいという、気持ちの表れでしょうか。
「この先どうなる、コロナと温暖化？早く安心して暮らしたい。」
社会情勢に目を向けられて、世界中の人々の気持ちを代弁してくださっています。ご利用者さまそれぞれの思いを込めて、飾り付けをしました。

「ラッキーボールに熱中挑戦」

紙コップを使つての、玉入れゲームです。投げる球に点数があつて、更に、紙コップにも色分けがあり、合計点数で勝負が決まります。玉はコロコロと転がって、どこに入るのか、ワクワク、ドキドキです。

競技中は、周りからの応援も沢山あります。「ヤッターー！」「おしいい……」「もうちょっと……」「よっしゃー！」「頑張れー！」「気合を入れてー！」

真剣な表情で、投げる腕にも力が入ります。久しぶりに皆さまの競争心に火が付いた、一日でした。



デイサービス八重桜 平城

【皆さまと夜空に願いの七夕】

今年もはや七夕の時季になり、本格的な「夏の到来」が間近に感じられます。皆さまの思い思いの願いを込めた五色の短冊を笹の葉に吊るして行きます。今回はこの笹の葉に加え、皆さまとスタッフと一緒に、大きな画用紙に、「七夕」の二文字を手作りの花や星で飾って描き出しました。先ず、色のついた薄紙を屏風折にして、その中央を輪「ム」で止めた後、一枚づつ丹念に開くと綺麗な「折り花」が出来上がります。「七夕」の文字には青、「夕」の文字にはピンクの花を貼って浮き立たせ、周りには、星の形に切り取った金銀の色紙を散りばめます。「折る」「開く」「貼る」の作業を分担、交代しながら出来上がった作品をバックに笑顔で、スタッフ達も交えての記念撮影。皆さまの願いがかないます様に。



【顔写真を合わせる神経衰弱】

「神経衰弱」で頭の体操です。動物、果物、乗り物の絵に混じってスタッフの写真も登場します！「あれっこの写真の顔、どこかで見ることがある」と思いきやスタッフだどわかり、笑いが弾んで盛り上ります。「一枚めくって、少し前に誰かがめくったもう一枚の同じペアのカードがどこにあつたかを思い出すのは、記憶力維持の為の良いトレーニングです。マッチできなかつた時の「あゝ残念」の声や、マッチ出来た時の笑顔と皆さまの拍手。でも、親しいスタッフの写真のカードの位置をしっかりと覚えて、カードをマッチさせた時のお喜びはひとしおでした。「好きこそ物の上手なれ」ですかね。ゲームの後、皆さま、「面白かった、またやりたいね」、「頭が冴えるね」などの感想を述べられていました。

デイサービス八重桜 西奈良

【七夕ステーション】

長引く梅雨模様で星空を仰げない日々が続いているなか、七月六日に七夕ステーションを開催しました。ステーションには、ご利用者さまにコツコツと制作いただいた色鮮やかなお飾りと、思い思いに書かれた短冊を香り涼しい笹の枝に飾りました。まず始めにリズムの良い「青い山脈」をカラオケで選曲。歌詞を見なくても皆さん自然と口ずさめる一曲です。次に西奈良館ではお馴染みのウクレレやキーボードに合わせて夏の季節にピッタリの童謡や歌謡曲を歌いました。

職員による洋楽の披露のあと「願い事が叶いますように」と気持ちを込めて「たなはたさま」を梅雨空を吹き飛ばすかのごとく、元気に合唱していただきました。



【金魚すくい】



夏の定番の遊びと言えば金魚すくい！小さい頃、夏祭りの露店でムキになってやった人も多いのではないのでしょうか。本当の金魚をすくってもらうわけにはいかないので、画用紙で金魚たちを作りました。うちわを使ってどれだけの数をすくえるかを競っていたかというゲームです。皆さま器用にすくっておられ、上手な方は職人のように手早くできていました。すくえたいと思いきやポロっと落ちてしまうこともあり、その際には「もうちょっとやのにー！」と悔しがる姿も。童心に帰ったような無邪気な表情がたたくさん見られ、ほのぼのとした気持ちになりました。実際にやっている方たちは、浴衣を着て露店を回っている気分になっていたのかもかもしれませんね。

社員投稿欄

初心に返り

杉山 元



八重桜に昨年五月に入社して八重の家レストラン桜で厨房の仕事をさせて頂いています。

私は、奈良市西大寺で営業していた料理店で働いておりましたが、昨今のコロナ禍と西大寺駅周辺の再開発事業などの影響を受け閉店したところ、八重桜からお声を掛けていただき再就職をさせていただきました。今までのお客さまとの接客とは少し違いますが、入居者さまには今までの経験を活かし、更に皆さまの要望に十分応えられるように初心に帰り料理の向上に努めたいと思っています。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

目隠しし 当たる様にと スイカ割り

牧山 ツヤ子

すごく楽しそうな雰囲気伝わってきますね

盆踊り 昔の様に 踊りたい

富永 よし子

八月と云えば昔懐かしい盆踊りを思い出しますね

縁側で 花火見ながら 夕涼み

深井 ちえ子

なんとも素敵な情景が浮かびますね

夕映えに ひときわ目立つ 月見草

大城 聖三

広々とした野原で咲く月見草が目につかびますね

猫の手が 金魚をねらい 鉢の中

森岡 榮子

猫がジーっと根気よく根がめている姿が目につかびます

懐かしい 母の味 冷し麦

大山 満子

昔、よく作ってもらった美味しい母の味が表現されていますね

古希を超え 川床も季語と知る 幸よ

河野 アサ

涼しげな川の流れて頂いている風景は夏ならではのですね

八重の家通信 15

ワクチン接種が完了

西 勝康

新型コロナウイルス感染予防のワクチン接種も希望者全員二回目の接種が完了しました。これで感染リスクはかなり軽減しました。ただし決してゼロリスクではないので引き続きマスクの着用、手洗いは励行しましょう。

東京、大阪などの都会を中心に感染は拡大していて、オリ・パラの影響も不透明な中、私たち奈良県での感染者数にも注意を続けたいと思っています。とはいっても、入居者の皆さんの買い物外出は再開したいと思います。開設以来コロナ禍で本来の自由な生活が制限されてきましたが、徐々に本来の生き生きとした生活に戻していきたいと考えています。皆さまには長きに亘ってよくご辛抱いただきましたことをお礼申し上げます。



また、八重桜の全施設において入居者さま、従業員の誰一人として感染者を出さなかったことをご報告させていただきます。

馳せ走る

食の匠

のひとりごと

積丹のウニ

西 勝康

盛夏になると北海道積丹半島のウニを思い出します。ウニの産地が多い北海道のなかでも抜群の美味しさです。積丹の海は透明度が高く太陽の光が海中に届き易く昆布の光合成が促されて上質の昆布が育ちます。それを食べるウニは最高の品質の美味しいウニに育つということなんです。そしてその漁期は六月から八月なのです。産地によって漁期は六月から八月、道南では九月から十一月、道東では一月から六月と一年をかけて北海道をぐるりと回ること年年中出荷できることになっています。現地ですぐ食べるウニは特別です。コロナが収束したら久しぶりに行きたいものです。

こころの遊歩道

字を忘れ 考えているうちに 文忘れ
徘徊の ルートAI にも読めず
我が家では 濃厚接触 とんとなし

シルバー川柳